

横浜市インフルエンザ流行情報 10 号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

《トピックス》

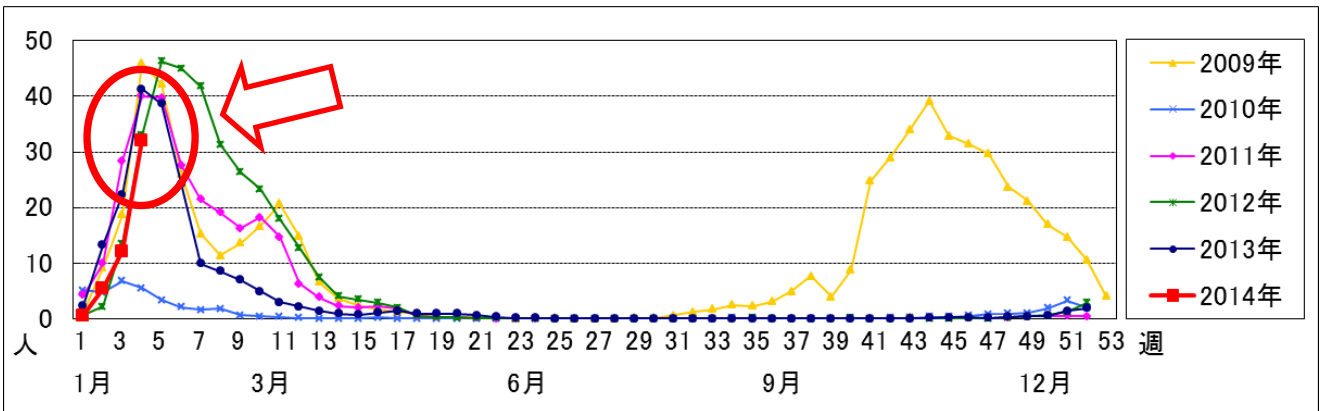
- **流行警報^{※1}が発令されました。**
- **学級閉鎖等の報告が急増しています。**
- **今シーズン初めてインフルエンザ脳症 (AH1pdm09) の報告がありました。重症化に注意が必要です。**
- **今後さらに流行拡大が予想されるため、予防や早期受診などの対策^{※3}が重要です。**

※1 警報・・警報発令基準値は定点^{※2}あたり 30.00 です。

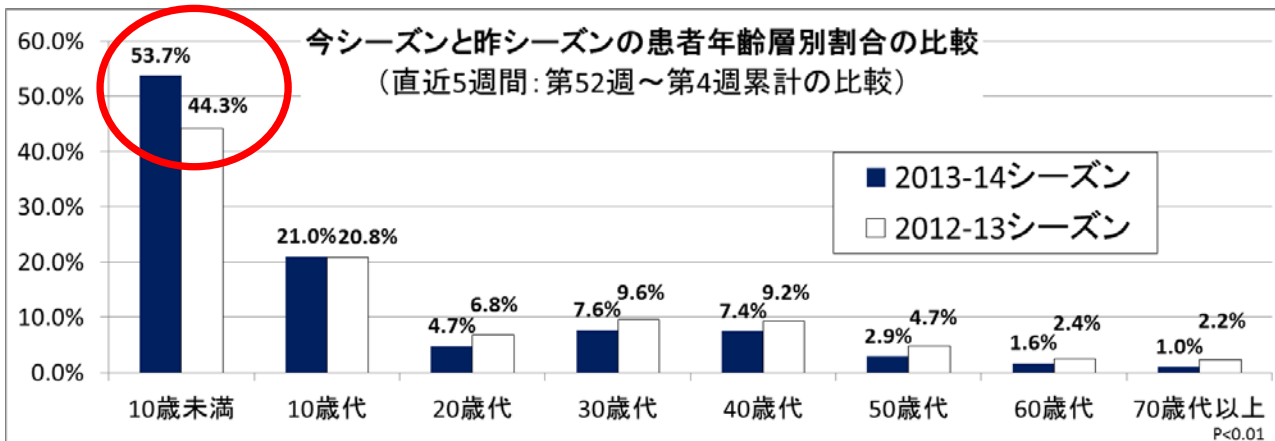
※2 定点・・定点とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内 152 か所)のことで、そこから報告された患者数の平均値が定点あたりの患者報告数です。

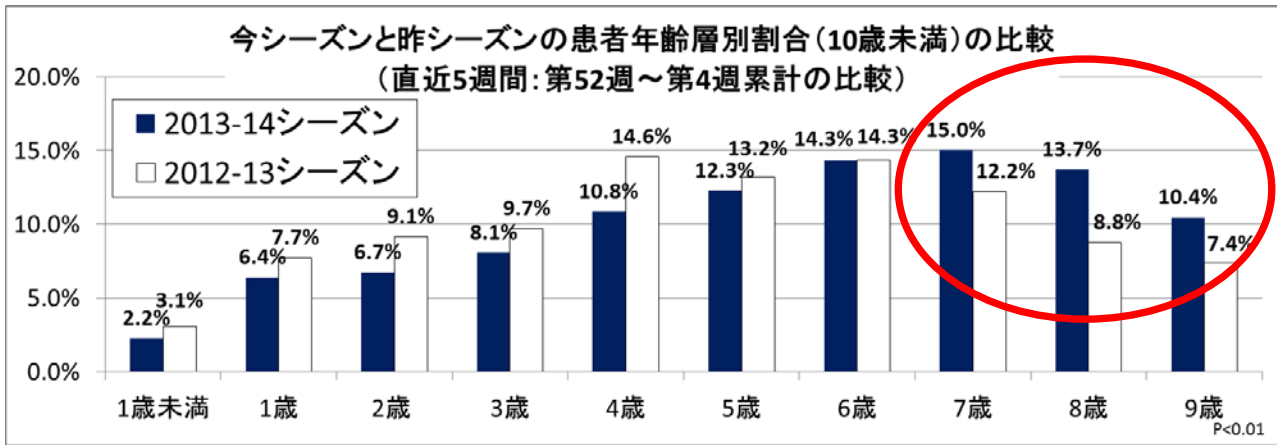
※3 [インフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

1 市内流行状況:市全体の定点あたりの患者報告数は、第 4 週(1 月 20 日~26 日)32.06 と、前週の 12.15 から急増しました。今後さらなる増加が予想されます。区別では、**緑区 61.14、都筑区 46.86、港南区 46.25、神奈川区 45.33、泉区 45.00** で特に多くなっています。

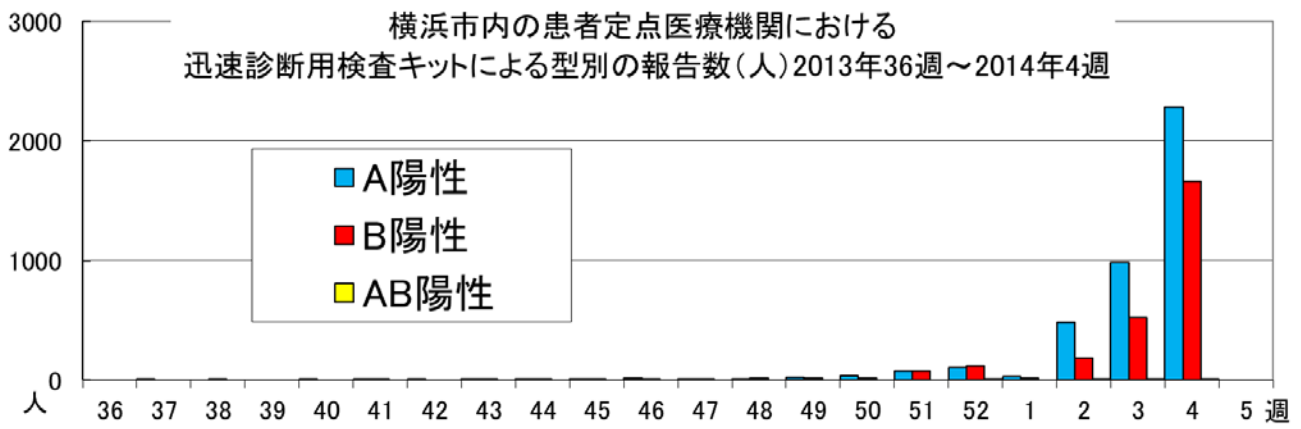


2 年齢層別集計:直近 5 週間(第 52~第 4 週)の患者年齢層別割合(累計)では、**昨シーズンに比べて 10 歳未満の割合が多く、その中でも 7~9 歳が多くなっていました。**ただ、全体的には 10 歳未満~10 歳代が多くを占めています。

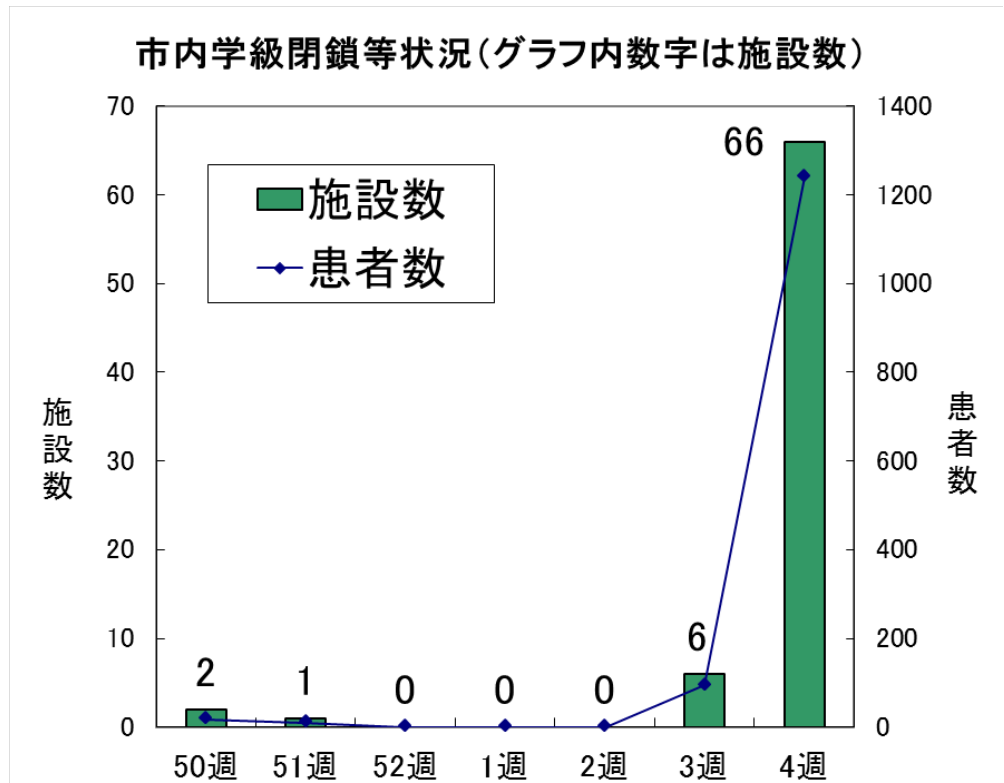




3 迅速キット結果:第2週以降A型、B型ともに報告が増えていますが、第4週ではA型57.8%、B型41.9%、A型B型ともに陽性0.3%と、**A型が6割程**を占めています。

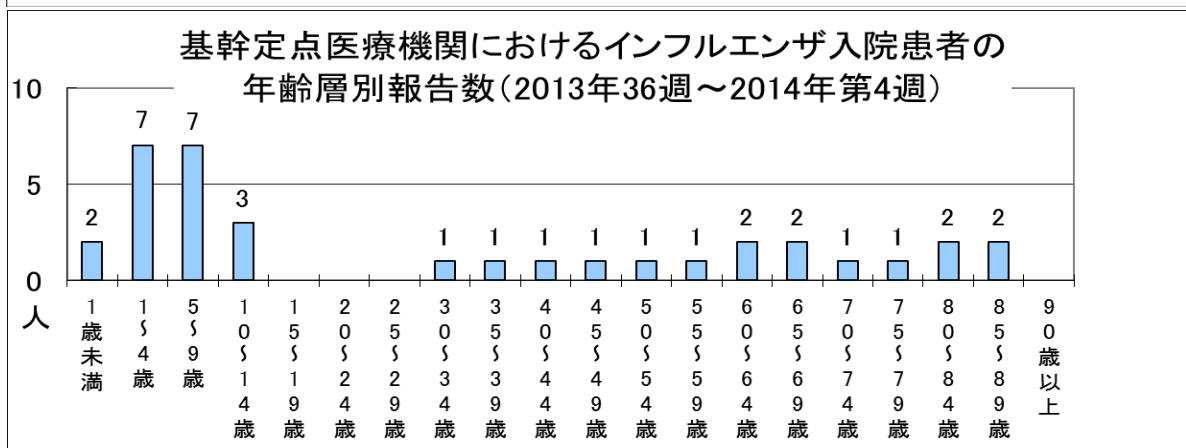
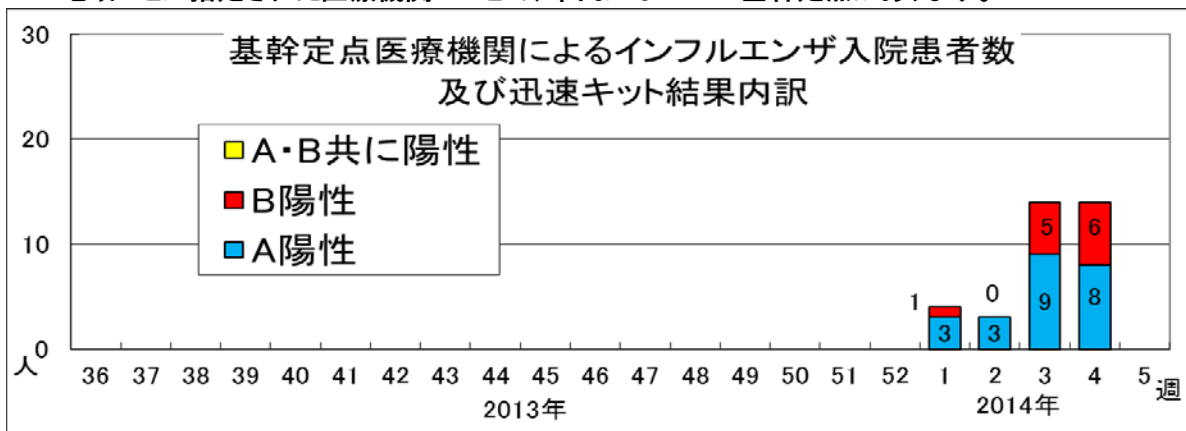


4 市内学級閉鎖等
状況:閉鎖施設数は第3週の6件から第4週は66件と、**11倍**に急増しました。患者数も**13.2倍**に急増しています。第4週の施設種別では、小学校49件、幼稚園9件、中学校8件、でした。



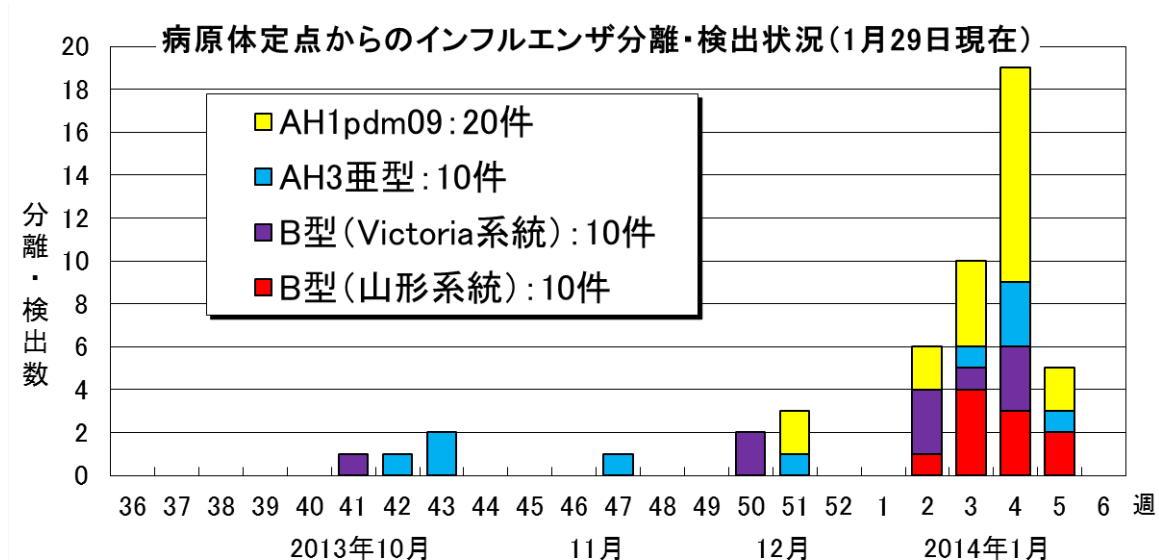
5 入院サーベイランス:基幹定点医療機関^{※4}における、インフルエンザの入院患者数は A 型の方が多くなっています。年齢層別(累計)では、**1~9 歳の報告が多くなっています**。第 3 週の入院例 2 名と第 4 週の入院例 2 名、計 4 名分の検体が衛生研究所に届いていますが、分析結果は AH1pdm09 が 2 件、A 型(現在さらに解析中)1 件、現在検査中 1 件です。

※4 基幹定点:患者を 300 人以上収容する病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの)の中から、地域ごとに指定された医療機関のことで、市内には 4 つの基幹定点があります。



6 インフルエンザ脳症:第 4 週に幼児の報告が 1 件あり、**AH1pdm09** が検出されています。本症例は発症後早期に意識障害を認めており、罹患後の容態変化に注意が必要です。

7 市内病原体検出状況:市内では病原体定点から今シーズン計 50 件インフルエンザウイルスが分離・検出されていますが、**AH1pdm09 が 20 件(40.0%)、AH3 亜型 10 件(20.0%)、B 型(Victoria 系統)10 件(20.0%)、B 型(山形系統)10 件(20.0%)**となっています。AH1pdm09 はかつて世界的に流行した際、**妊婦の重症化**が問題になっており注意が必要です。なお、今シーズンのワクチンには B 型(Victoria 系統)は含まれておりません。



8 分離株の抗原性解析と耐性検査:市内で検出されたインフルエンザウイルスの、ワクチン株との抗原性解析(HI 試験)では、**AH3 亜型株、AH1pdm09 株とも、試験を行った株はすべて 2 管差以内**でした。一般的に 2 管差(HI 価 4 倍)以内でワクチン株と類似していると言われています。薬剤感受性試験では、**AH3 亜型株、AH1pdm09 株とも、試験を行った株で主な薬剤への感受性低下は認めませんでした。**

衛生研究所で **AH1pdm09 の 31 株を検査したところ、耐性ミックス株(275H/Y)(注:薬剤治療で誘導された耐性株)が 1 株見つかりました。耐性株(275Y)は見つかっていません。**

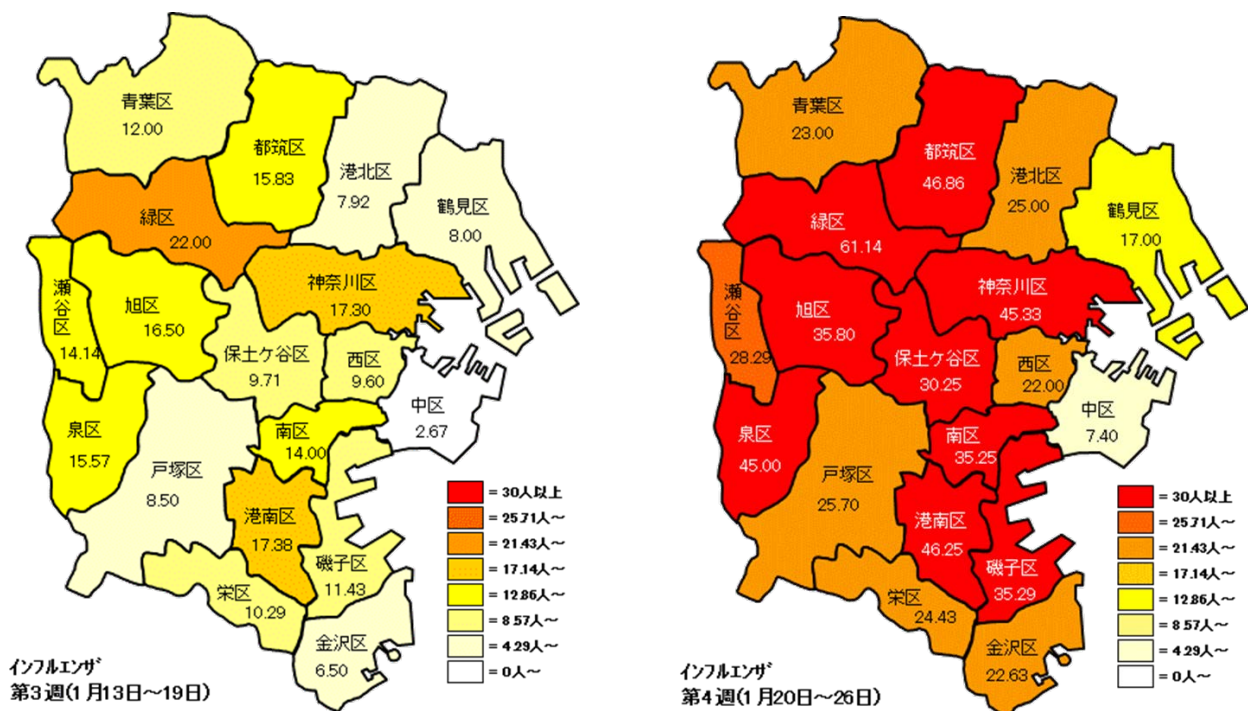
亜型名	ウイルス株名	検体採取日	抗原性解析結果	薬剤感受性試験
AH3 亜型株	A/YOKOHAMA/159/2013	2013/10/21	1 管差	感受性低下無し
	A/YOKOHAMA/158/2013	2013/10/21	1 管差	感受性低下無し
	A/YOKOHAMA/157/2013	2013/10/19	1 管差	感受性低下無し
	A/YOKOHAMA/154/2013	2013/09/02	1 管差	未実施
	A/YOKOHAMA/155/2013	2013/09/02	同等	未実施
	A/YOKOHAMA/160/2013	2013/11/24	同等	感受性低下無し
AH1pdm09 株	A/YOKOHAMA/156/2013	2013/09/09	1 管差	感受性低下無し
	A/YOKOHAMA/161/2013	2013/12/10	同等	感受性低下無し
	A/YOKOHAMA/162/2013	2013/12/10	1 管差	感受性低下無し
	A/YOKOHAMA/163/2013	2013/12/10	1 管差	感受性低下無し
	A/YOKOHAMA/1/2014	2014/01/06	未実施	感受性低下無し

* 抗原性解析、薬剤感受性試験は国立感染症研究所で実施

* 薬剤感受性試験は、オセルタミビル、ペラミビル、ザナミビル、ラニナミビルに対して実施

注:抗原性解析は、実験室的にウイルス株とワクチン株の類似性を確認しているだけで、臨床的なワクチンの効果は疫学的に検証する必要があります。

9 区別流行マップ



【お問い合わせ先】横浜市健康福祉局健康安全課 TEL 045(671)2467

横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(754)9816